

裾野市に交通黄旗・横断旗を寄贈

自動車研究所では社内募金制度「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」により、社会貢献活動の一環として地域に密着した様々な寄附活動を行っています。本年度も交通安全と交通事故防止活動への協力として、交通黄旗・横断旗を裾野市に寄贈致しました。黄旗寄贈は平成27年を初めに、本年度で連続6回目となります。

寄贈式当日裾野市では、交通事故死者ゼロを400日間更新中でした。市内幹線道路では朝夕においてボランティア及び学童父兄による交通整理が積極的に行われており、死亡事故ゼロ継続も交通安全に向けた、ボランティア・父兄の日々努力の成果であるかとも思います。寄贈式では市長より設置済の小型横断者用黄旗が、常に破損や紛失により常に不足状態となっていますので、継続して黄旗の寄附をいただけるのは例年時期的(年末の交通安全強化月間でもあり)にも、大変ありがたいとお話をいただきました。そして交通安全を守るのは黄旗だけに限らず、様々な形で交通安全に携わる市民の協力もあり、ご協力いただく皆様には大変感謝したいとおっしゃっていただきました。

裾野市では2021年に市政50周年を迎え本来各種祝賀イベント等で賑わうはずでしたが、蔓延拡大するコロナ禍において、市が主催する成人式・マラソン大会など各種イベント事の開催が中止や延期へと活動が制限されています。

ただ裾野市では2021年の明るいニュースとして、市内一部地域において人々の暮らしを支えるあらゆるモノやサービスが繋がる実証都市「コネクティッド・シティ」構想がスタートします。名前を「ウーブンシティ」と命名され実証都市プロジェクトのスタートです。人にとってより快適で交通事故の無い未来社会構築の一步として期待と夢が広がります。



・黄旗寄贈(高橋社長/裾野市長)



・黄旗と横断旗贈呈式